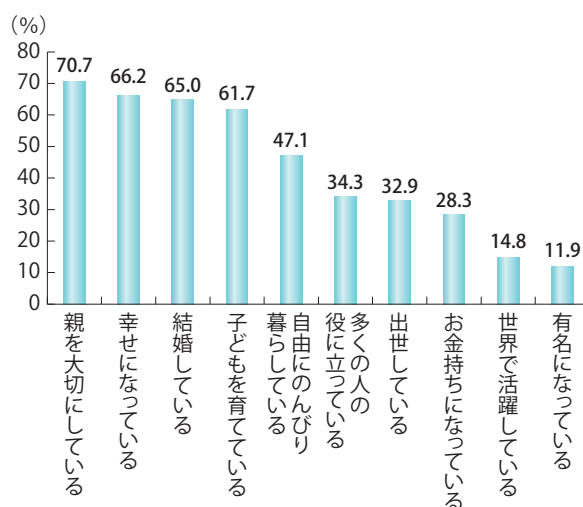


日本の若者が抱く自分が40歳になったときのイメージでは、「有名になっている」や「世界で活躍している」といった立身出世に関する項目は相対的に低く、「親を大切にしている」や「子どもを育てている」といった家族形成に関する項目は相対的に高い。(図表14)

図表14 40歳になったときのイメージ



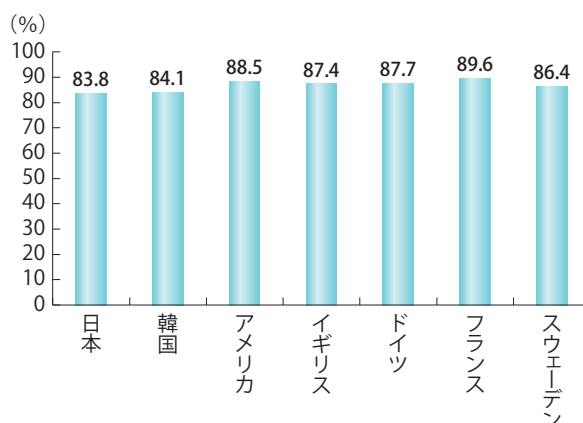
(注)「あなたが40歳くらいになったとき、どのようになっていると思いますか」との問いに、各項目において「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の合計。

2 家族・家庭生活

親からの愛情に対する意識は、日本の若者と諸外国とで大きな差はない。一方で、家族といるときの充実感や家庭生活の満足度は、相対的に低い。

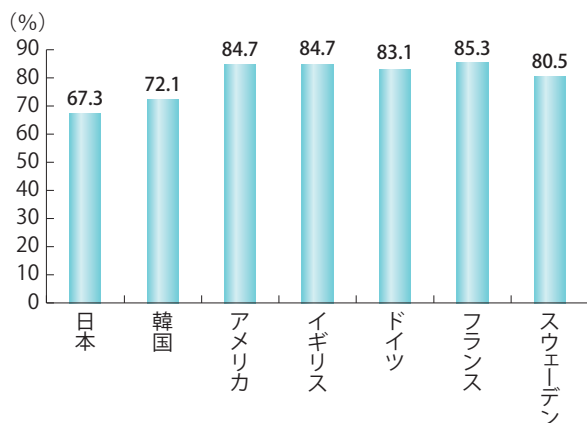
日本の若者の8割強が自分の親から愛されている(大切にされている)と思っており、諸外国と比べても大きな差はない(図表15)。一方で、家族といるときの充実感や家庭生活の満足度は、諸外国と比較して相対的に低い(図表16, 17)。

図表15 親から愛されている・大切にされている



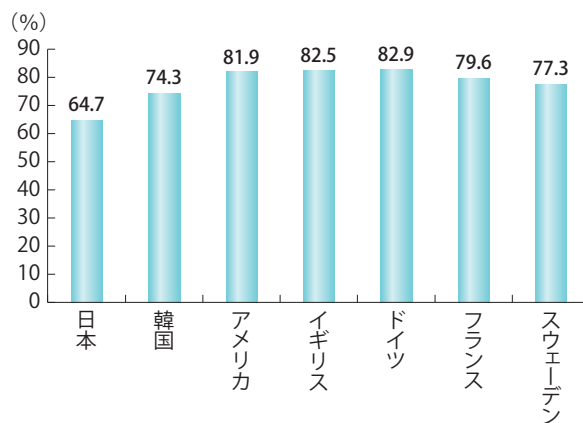
(注)「次のことがらにあなた自身にどのくらいあてはまりますか。」との問いに対し、「自分の親から愛されている(大切にされている)」と思う」「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の合計。

図表16 充実感(家族といるとき)



(注)「あなたは、どんなときに充実していると感じますか。」との問いに対し、「家族といるとき」に「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した者の合計。

図表17 家庭生活の満足度



(注)「あなたは、家庭生活に満足していますか、それとも不満ですか。」との問いに対し、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した者の合計。